



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.206
令和6年11月号

◆「栃木県産農産物に新たな魅力を！フードロス削減研修会」を開催



10月22日(火)、当協会は、学校法人三友学園 IFC調理製菓大
学校において、「栃木県産農産物の新たな魅力を引き出す！フード
ロス削減研修会」を開催し、県内の飲食店と学生合わせて50名が
参加しました。

講師には、中国料理「^{MIYU}美虎」のオーナーシェフ「五十嵐美幸シ
ェフ」をお招きし、生産者を交えたフードロス削減についてのトーク

ショーをはじめ、フードロス削減を目的としたメニュー4品をご紹介いただきました。

五十嵐シェフからは、「ロスになる物が、付加価値が付けられて、
新たなメニューになる。それは、逆に魅力的なメニュー！フード
ロスを生まれ変わらせて、楽しくやらないと、美味しいメニューは出
来ないと思うよ。」などと、フードロス削減に対する取組みについ
てアドバイスをいただきました。



《メニュー》

- ◆キュウリの即席漬け
- ◆もちりニラシューマイ
- ◆ニラのミルクバタージュ
- ◆ヤシオマスと梨の
カルパッチョトマトジャン



◆栃木の米づくりプロジェクト賞味会を開催

10月25日(金)、当協会は、栃木の米づくりプロジェクト事業
の一環として、日本料理「赤坂とだ」において「とちぎの星」の賞
味会を開催しました。

当日は、お米に関する専門知識を持つ有識者3名【五ツ星お米マ
イスターであり山下食糧株式会社代表取締役の山下治男（やました
はるお）氏、株式会社シブヤ代表の渋谷梨絵（しびやりえ）氏、
米・食味鑑定、ごはんりり江、お米うたの柏木智帆（かしわざちほ）
氏】をお招きし、さらに県内3地区のとちぎの星産地研究会の生産
者の方々も同席し、各産地の「とちぎの星」を存分に味わって
いただきました。

有識者からは、「とちぎの星」の粒揃いの良さや弾力、食味のポ
テンシャルの高さを評価いただいた一方、「産地の創意工夫によっ
てもっと美味しくなるはず」とのお墨付きをいただきました。また、
産地側からは、栽培の工夫や酷暑対策の苦勞などについてのお話
があり、終始和やかな中にも真剣な意見交換を繰り広げました。

今後は、前回の産地視察や賞味会を通し評価し、エビデンスを可
視化することで、高品質な「とちぎの星」の特徴を活かした販売促
進につなげていきます。

また、会場となった日本料理「赤坂とだ」において、11月1日
(金)～30日(土)まで、「とちぎの星」を使用したメニューをご提
供いたします。ぜひ、この機会に美味しい「とちぎの星」をご堪能
ください。



とちぎの星シューマイ（まい）
（シューウ米）

第3回にっこり大玉コンテストを開催



10月29日(火)、当協会は、栃木県JAビルにおいて、梨の栃木県オリジナル品種「にっこり」の更なる魅力度アップを図り、ブランド力向上及び生産振興に繋げるため、「にっこり」の特長である大きさについて、県内外へ発信すること等を目的とし、「第3回にっこり大玉コンテスト」を開催しました。

県内各地の生産者から31点の出品があり、重量と外観を総合して審査した結果、上位10品が入賞となり、最優秀大玉賞は、JAおやま梨部会の鈴木俊博さんが受賞されました(記録:1,863g)。

これらの入賞した「にっこり」は、11月4日(月・振替休日)に福田屋ショッピングプラザ宇都宮店において展示し、併せて県産にっこりのPR等も実施しました。



牛肉テストマーケティング調査を実施 in オーストラリア

9月28日(土)~29日(日)、当協会は、オーストラリアにおいて、県産牛肉の輸出拡大を目的としたテストマーケティング調査を実施しました。

調査は、シドニーで開催された“日本食などの見本市”に参加し、現地食品バイヤーやレストラン関係者、一般消費者の方々に対し試食を行いました。



「油がしつこくない」
「とろけるようで柔らかい」
など、県産牛肉に対し高い
評価をいただきました!!



シンガポール牛肉バイヤーを招へい



10月29日(火)~31日(木)、当協会は、シンガポールにおける「とちぎ和牛」の輸出促進を目的としたバイヤー招へいを実施しました。

とちぎ食肉センターを訪問し、カット等の行程を視察したほか、肥育農家を訪問し、「とちぎ和牛」が飼育されている環境、耕畜連携などの取組みについて、説明いただきました。

バイヤーからは「カット処理後から出荷までの保管期間」や「飼育期間・飼料の種類」などについて質問がなされ、活発な意見交換の場となりました。



「さんフェアとちぎ2024」県産花きPRの実施

10月26日(土)、27日(日)の2日間、当協会は「花咲くとちぎ推進協議会」、JA全農とちぎと連携し、全国産業教育フェア栃木大会「さんフェアとちぎ2024※」の会場の一つとなるマロニエプラザに展示ブースを設け、県産花きのPRを行いました。

ブースは、生産者の協力の下、ユリ・カーネーション・スプレーマム・トルコギキョウ・りんどう・鉢物等で飾花し、県産花きの優美で華やかな様子を多くの県内外の来場者に観ていただきました。

また、この大会の競技部門となる全国高校生による「フラワーアレンジメントコンテスト」に、「栃木県花き振興協議会」とJA全農とちぎが、コンテストで使用される花材のうち、カーネーション・バラ・スプレーマム・ユウカリ等を提供しました。



ブースでの飾花風景



県産花きのPRポスター



高校生によるフラワーコンテスト風景



※「さんフェアとちぎ2024」は、専門高校等の生徒による学習成果発表の全国大会であり、「第34回全国産業教育フェア栃木大会」の略称。今年度の開催地は栃木県で、宇都宮市内の5会場で開催。

とちぎの花でスマイルアップ in NHK (10月分)

10月は、今年の県産りんどう出荷の最後を飾る「みやまくん」の愛称をもつりんどう、丸みのある大輪の花びらに気品と美しさを漂わせる淡い青紫色のバラ、色とりどりで存在感があり華やかさが魅力のダリア、花はシクラメンより小さめでぎっしり開花し5月の連休頃まで楽しめるミニシクラメン、4品目の花を紹介しました。

11月には、とちぎ花センターで「シクラメン&冬の鉢花展覧会」(11/19~12/8)が開催されます。生産者が丹精込めたシクラメンやポインセチア、クリスマスローズなど冬の鉢花が、約300鉢展示されます。

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」(18:30~)



10/4 ミヤマリンドウ
大島 正一氏
(那須町)



10/18 バラ
福田 佳幸氏
(宇都宮市)



10/18 ダリア
飯島 太陽夫妻
(日光市)



10/25 ミニシクラメン
海老原 正信氏
(真岡市)



令和6年11月の県産花きの紹介は、以下のとおりです。

11/ 1 (金) スプレーマム 上都賀地区
8 (金) カーネーション 那須地区
15 (金) 宇都宮白楊高等学校
22 (金) トルコギキョウ 安足地区
29 (金) ポインセチア 河内地区

カレーフェスティバル in 農産物直売所あぜみち西川田店



10月20日(日)、(株)グリーンデイズ主催で、「カレーフェスティバル in 農産物直売所あぜみち西川田店」が開催されました。

当日は、県内飲食店やキッチンカーなど7施設が出店し、県産野菜などを使用したこだわりのカレーを販売しました。

当協会は、炊き立てのしゃき！ぱりっ！ぱりっ！のカレーにぴったりの「とちぎの星」を約600食配布しました。

来場者からは、「お米が美味しい！」など、好評の声が多数聞こえてきました。



RADIO BERRY FM栃木 U字工事のSORRY SORRYに出演

「U字工事」の冠レギュラー番組「RADIO BERRY FM栃木 U字工事のSORRY SORRY」に、とちぎフレッシュメイトが「とちぎの星」のPRで出演しました。栃木愛たっぷりのトークでした☆



◆ ◆ ◆ 11月の予定 ◆ ◆ ◆

2日(土)~3日(日) 餃子まつり (参加PR)	(市内)
4日(月) にっこり大玉PRイベント	(市内)
7日(木)~8日(金) スーパーコーチ派遣事業 トマト	(県内)
11日(月) 全国ナシ大会実行委員会	(市内)
12日(火) マーケティング協会第2回幹事会	(JAビル)
13日(水)~14日(木) 令和8年度産いちご親株配布	(県内)
14日(木) 鉢物立毛共進会	(県内)
19日(火) スーパーコーチファームサイドほ場研修	(県内)
19日(火)~12月8日(日) シクラメン&冬の鉢花展覧会	(県内)
20日(水)~21日(木) 令和8年度産いちご親株配布	(県内)
22日(金) スーパーコーチ派遣事業 バラ	(県内)
25日(金) スーパーコーチ派遣事業 いちご	(県内)
25日(月)~28日(木) シンガポール牛肉プロモーション支援	(海外)